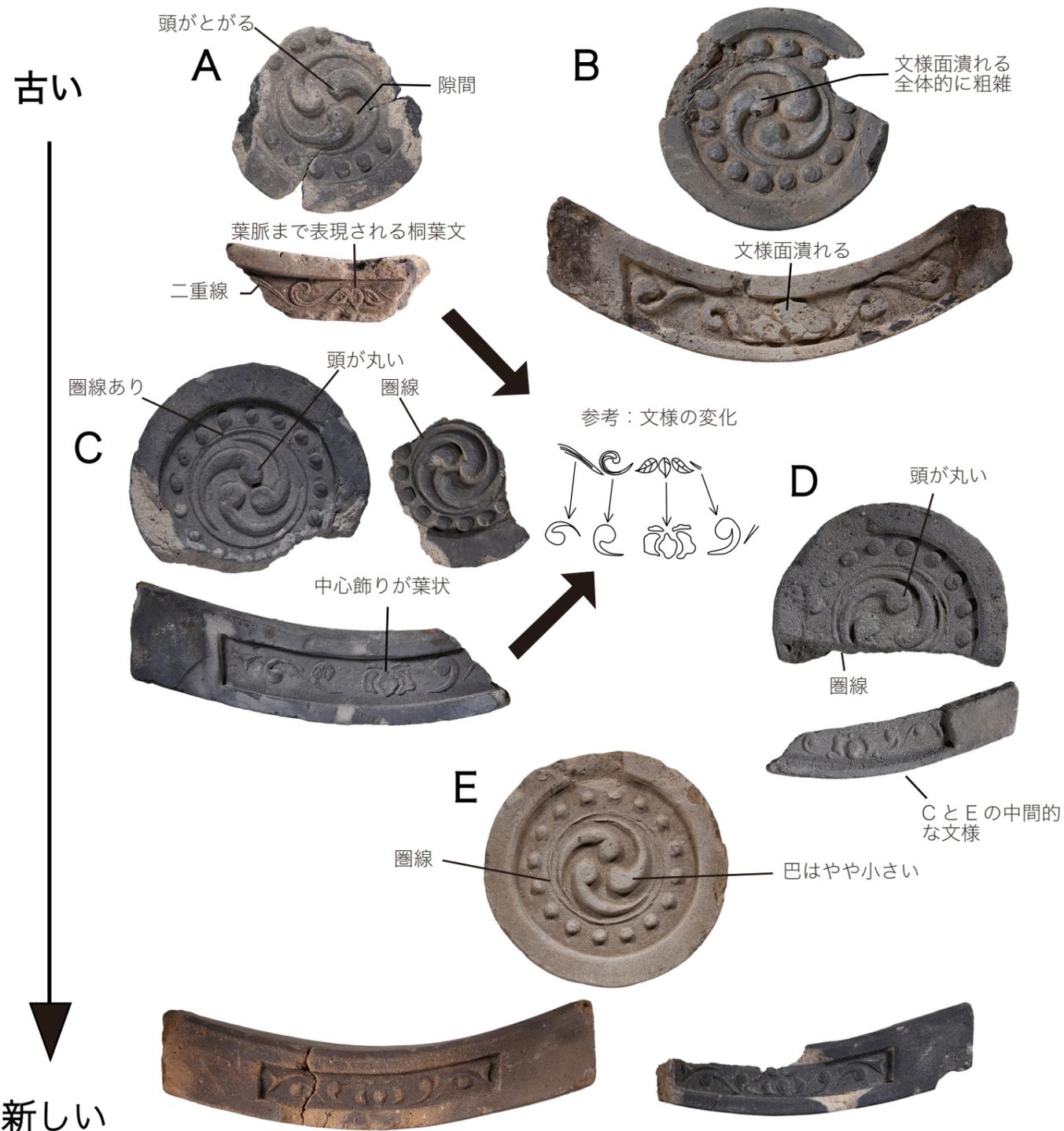


## 沼田城跡出土の瓦の見かた

遺跡から出土した資料を復元し検討することにより、資料の年代などが分かることがあります。沼田城跡では平成27・28年度発掘調査の瓦を過去の調査成果も含めて検討したことにより、次のことが分かりました。

- ・出土した瓦は、真田氏時代のものである。
- ・軒瓦の文様から、少なくとも3ないし2段階以上の時代の瓦が存在するようである。
- ・古いものは17世紀初頭に遡る可能性が高い。新しいものは17世紀前葉～中葉のものか。
- ・A・Bが古く、C～Eが新しい。A・BやC～E同士の年代差については、更なる検討が必要。

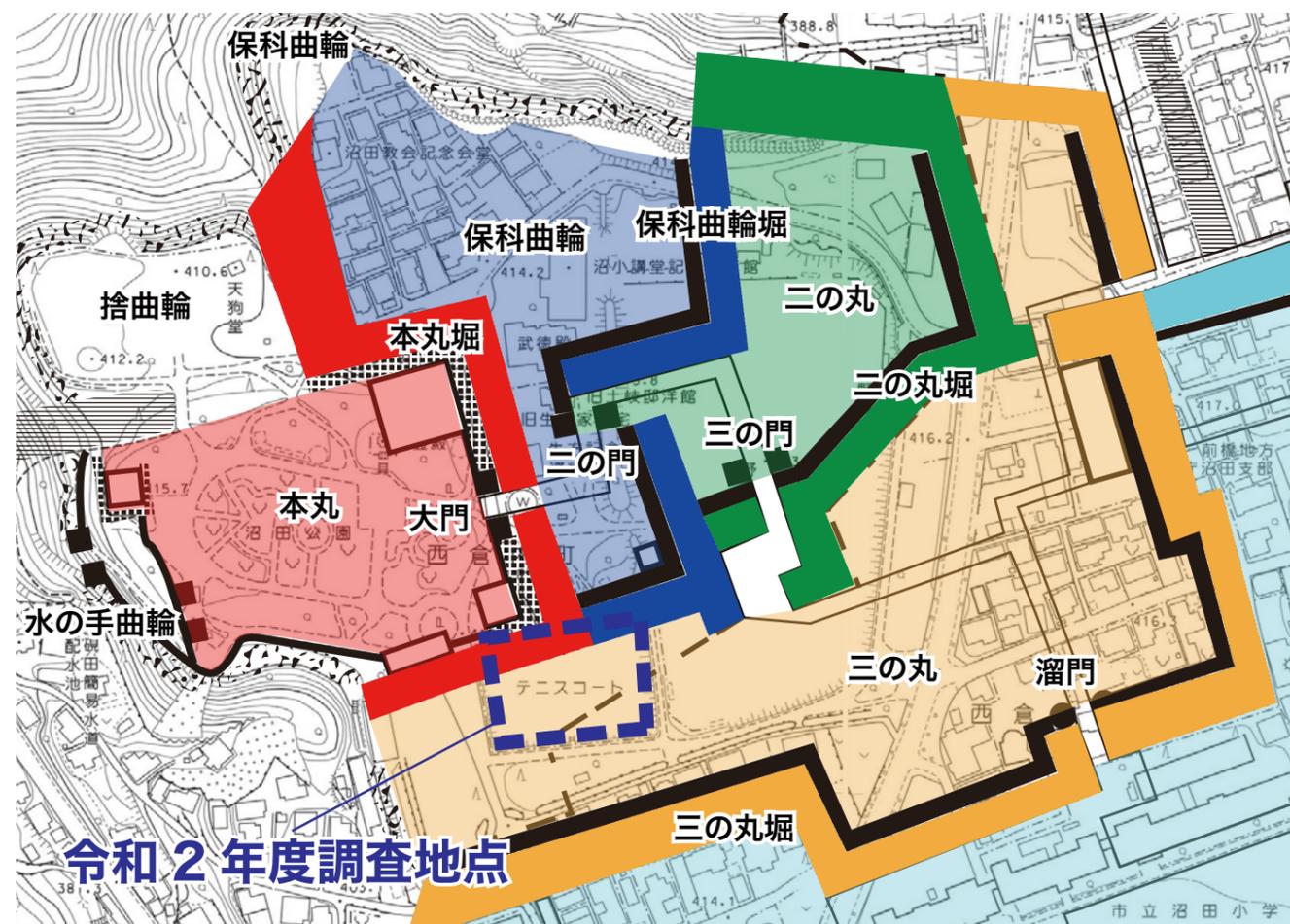
このように、資料の年代が分かれば、その資料が出土した遺構(建物等)の年代も分かるようになります。つまり、資料を復元することは、歴史の復元にもつながります。



## 沼田市指定史跡沼田城跡発掘調査

# 令和2年度現地説明会資料

沼田市教育委員会文化財保護課  
令和2年9月6日(日)



調査面積 576㎡  
調査期間 令和2年5月12日～9月30日

### 今回の調査の成果

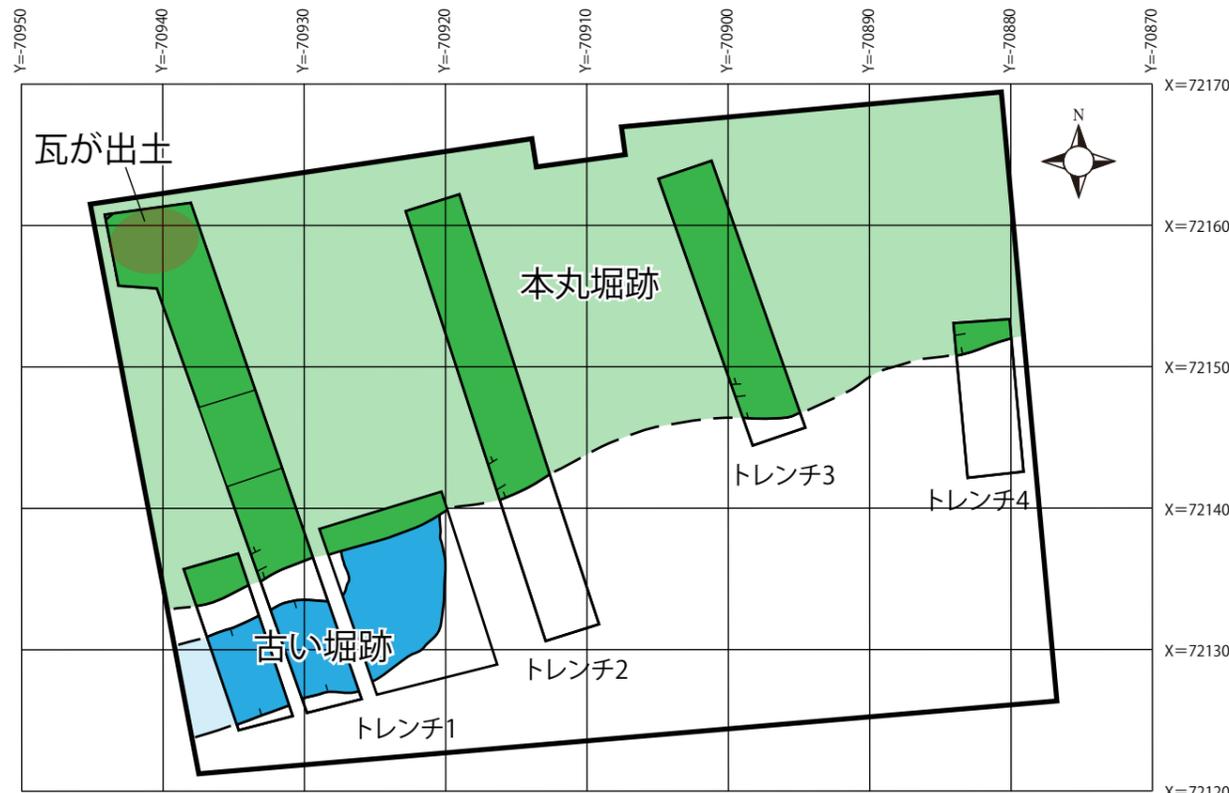
- ①沼田城本丸堀の位置と規模が確認できました
- ②テニスコート北西部分で、真田氏改易(天和2年・1682年)に伴う破城時に、三重櫓を取り壊した状況がみつかりました
- ③沼田城を描いた絵図面に描かれていない1500年代末頃と推定される堀跡がみつかりました

## 沼田城本丸堀の規模と構造

本丸堀は、旧テニスコートの高さで幅28.1m、深さ3.8mあることが確認できました。旧テニスコートは公園整備で削平されていることから、当時の堀幅、深さはさらに大きかったはずで、令和元年度の本丸内での調査で確認された、破城時と考えられる面から、今回確認した本丸堀底までの深さは5.6mになります。また今回の調査で確認した延長は60m、軸方位はE-18°-Nです。

本丸堀南壁には、犬走状の平坦面が一段存在することが、トレンチ1~4でわかりました。この平坦面は硬化しており、人が移動するために使用されていたことが窺えます。もともと本丸堀に人が移動するためのものとして備わっていたのか、明治時代以降払い下げられてから利用されたものかはわかりません。

本丸堀は、南側から大量の土砂で埋め戻されており、この土砂からは、幕末から近代の陶磁器が出土しています。堀底は約30cm泥が堆積して明治時代の徳利が出土しました。長年の間堆積したにしては薄いことから、繰り返し堀底をさらうなどし続けたことがわかりました。沼田城は大正5年以降の公園整備で埋められたり、削られたり大きく改変されていますが、その状況が確認できることも発掘調査の成果の一つです。



概略図 1:500

## 破城時の状況を示す瓦

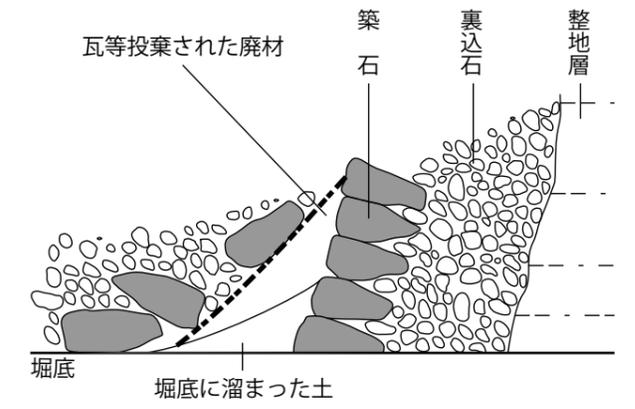
真田氏改易時（天和2年・1682年）に沼田城の建物や石垣等は解体処理されました。このように城の軍事機能を取り除き、権威の象徴を排除する行為を破城（はじょう）と呼びます。

1トレンチの本丸堀内から、本丸側から投げ込まれたような状況で多量の瓦が出土しました。これらの瓦は、破損が少なく、折り重なるように出土していることから、破城時に建物の解体に伴って不要となった瓦を、一括して投棄したものと考えられます。本丸南東隅には三重櫓（さんじゅうやぐら）が建っていたことが絵図面で確認できるため、この三重櫓に葺かれていた瓦が投げ込まれたものと考えられます。瓦は、軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦の他、鬼瓦（おにがわら）、鯨瓦（しやちがわら）が出土しています。また、鉄釘（てつくぎ）、鋸（かすがい）も出土しており、櫓の建築部材に使われていたものと考えられます。

瓦の上には、石垣に使われていたと考えられる礫（築石と裏込石）が堆積しています。このことから、建物を解体し瓦等の廃材を投棄したのち、石垣上部を壊したものと推測できます。瓦の下には沼田城本丸の石垣が眠っている可能性があります。



真田氏改易時に行われた破城により投棄された瓦



瓦の堆積状況の断面模式図

## 絵図面に描かれていない堀跡

本丸堀の南側で、本丸堀より古い堀跡が見つかりました。沼田城を描いた絵図面のうち、最も信頼性が高いとされている「正保国絵図 上野国沼田城絵図」は、17世紀中頃の沼田城の状況を示していますが、今回見つかった古い堀は描かれていません。

この古い堀跡は、複数回作り直されており、最終段階は出土遺物から16世紀末~17世紀初頭に埋め戻されたと考えられます。この時期は、真田氏が沼田城を得て、真田信幸が盛んに城の整備を進めている時期に当たります。沼田城が「正保城絵図」の姿になるまでにいくつかの変遷があり、古い段階の沼田城の姿を、今回の調査で初めて捕らえることができました。

また、この堀跡の古い段階はさらに時代を遡ることから、沼田城の古い姿については、これからさらに検証が必要です。